



豊かな自然・
かがやく文化
大好き阿賀町

～「阿賀町15年教育」で未来の創り手を育む～

阿賀町学習指導センターだより

令和3年11月29日（月）№20

授業づくり2 津川小 関田 有佑 先生 6年体育

単元「T ボール」、本時ねらいは、「同じチームとの対戦を通してゲームのルールや場の設定に参画し、自己の役割やチームの特徴を知り、失点を防ぐ方法について考えることができる。」です。（*10月実践）

授業のアウトライン

前時間の振り返りから、本時のゲームルールの変更点について意見交流し、めあて「失点を防ぐ方法を見つけよう」を設定し、失点を防ぐためにできることを確認し合います。ゲーム途中、作戦タイムを設け、チーム内での自分の役割を確認し、ゲームを再開します。まために、ゲームを通して、効果的な失点を防ぐ方法をふり返り、共有します。

ここ！を学びたい ～交流の目的をしっかりと持たせる～



チームで作戦を練る場面。「試合を有利に進めるにはどうしたらよいか」という目的が共有されていることから、活発な意見交流、話し合いがなされていました。

話し合いが、子どもたち一人一人の役割に終始する様子を見取り、すかさず、子どもたちへ「チームワーク」という「新たな視点」を提示し、子どもたちに学習活動の広がりを持たせていました。

1人も取り残さない授業

どうしても得意な子が目立ってしまう、苦手な子は進んで参加しようとしないう、そうした様子が全く見られませんでした。すべての子が進んで学習できるよう、5年時から、投げ方や打ち方などを指導されてきた関田先生。根気強い積み重ねが子どもたちの姿となって表れていました。



体育で「深い学び」をどのように創り出すか？

体育科での「深い学び」は、「体育の見方・考え方を働かせ、自他の学習課題を発見し、練習方法の工夫、活動の場の選択をしながら、試行錯誤を繰り返し、よりよく解決する」ことです。関田先生の授業は、「作戦タイム(自他の課題の共有)➡ゲーム➡作戦タイム(さらなる自他の課題の発見と共有)➡ゲーム(再調整)」で構成さ

れていました。このことから、子どもたちを「深い学び」へいざなうよう、指導過程工夫されていたことが分かります。子どもたちが、学習の目的をしっかりと持っていたことが、学習をより質の高いものにしたと言えます。

ICT活用 「まず、使ってみる」、そして、その先へ……………

関田先生の授業では、次のような場面でタブレット端末が活用されていました。



・交流活動で、子どもたちにデータを提示し、気づきを促す。(左)

・学習の振り返り場面。(右)
*子どもたちは直接入力。タブレット端末に習熟している様子が見られました。








タブレット端末等を活用した体育授業例

「小6 体育 ICT を用いて仲間と課題を共有し、チームで成長することを目指したタグラグビー」
(深圳日本人学校実践)

「ロイロノート・スクール」で紹介されています。「仲間との課題共有」「チームで成長」と関田先生授業との共通点があります。詳しくは「ロイロノート・スクール」で検索、ご覧ください。

まず、「型」をなぞって、ICTを活用した授業を行ってみましょう。

文部科学省が作成した次の図が、参考になります。ここからスタート、そして工夫、改善していきましょう。

3 ICTを活用した指導方法の開発					
〈学習場面ごとのICT活用を類型化し、そのポイント及び実践事例を掲載〉					
A 一斉学習 挿絵や写真等を拡大・縮小、画面への書き込み等を活用して分かりやすく説明することにより、子供たちの興味・関心を高めることが可能となる。	B 個別学習 デジタル教材などの活用により、自らの疑問について深く調べることや、自分に合った進度で学習することが容易となる。また、一人一人の学習履歴を把握することにより、個々の理解や関心の程度に応じた学びを構築することが可能となる。		C 協働学習 タブレットPCや電子黒板等を活用し、教室内の授業や他地域・海外の学校との交流学習において子供同士による意見交換、発表などお互いを高めあう学びを通して、思考力、判断力、表現力などを育成することが可能となる。		
A1 教員による教材の提示  画像の拡大提示や書き込み、音声、動画などの活用	B1 個に応じる学習  一人一人の習熟の程度等に応じた学習	B2 調査活動  インターネットを用いた情報収集、写真や動画等による記録	C1 発表や話し合い  グループや学級全体での発表・話し合い	C2 協働での意見整理  複数の意見・考えを議論して整理	
B3 思考を深める学習  シミュレーションなどのデジタル教材を用いた思考を深める学習	B4 表現・制作  マルチメディアを用いた資料、作品の制作	B5 家庭学習  情報端末の持ち帰りによる家庭学習	C3 協働制作  グループでの分担、協働による作品の制作	C4 学校の壁を越えた学習  遠隔地や海外の学校等との交流授業	

発行 阿賀町学習指導センター

〒 959-4392 東蒲原郡阿賀町鹿瀬 8931 番地1

☎ 0254-92-3337(直通) ☎ 0254-92-2116

E-mail kohiyama_hyk4042@town.aga.lg.jp kyoiku3@town.aga.ed.jp



町の鳥 ウグイス